



平成 20 年 4 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社雑貨屋ブルドッグ
代表者名 代表取締役 小楠昭彦
(J A S D A Q ・ コード 3 3 3 1)
問合せ先
役職・氏名 取締役 岩藤洋一
電話 053 - 585 - 9001

平成 20 年 8 月期中間（連結・個別）及び通期（連結・個別）業績予想の修正に
関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年8月期(平成19年9月1日～平成20年8月31日)の業績予想について、平成19年10月12日付当社「平成19年8月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 20 年 8 月期 連結業績予想ならびに個別業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日）
連結

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	14,759	1,432	1,413	546
今回修正予想 (B)	12,855	1,169	997	330
増減額 (B - A)	1,904	263	416	216
増 減 率	12.9%	18.4%	29.4%	39.6%

個別

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	14,335	1,330	1,286	517
今回修正予想 (B)	12,430	1,069	1,017	452
増減額 (B - A)	1,905	261	269	65
増 減 率	13.3%	19.6%	20.9%	12.6%

(2) 通期(平成19年9月1日～平成20年8月31日)

連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	28,668	2,332	2,300	954
今回修正予想(B)	25,126	1,652	1,400	379
増減額(B-A)	3,542	680	900	575
増減率	12.4%	29.2%	39.1%	60.3%

個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	27,854	2,081	2,000	848
今回修正予想(B)	24,312	1,535	1,438	595
増減額(B-A)	3,542	546	562	253
増減率	12.7%	26.2%	28.1%	29.8%

(3) 修正理由

当期につきましては、中間期までに当社の従来からの課題でありました既存店の売上高の回復に向けての施策を打ってまいりました。

前年度後期より行っている大幅な商品構成の見直し(ブルドッグらしい「かわいい・おしゃれ・おもしろい」をコンセプトにした商品への入替)を続けてまいりました。しかしながら、326店舗の商品を入れ替えるのに、当初計画した時間より多くの日数を要したため、中間・通期ともに当初の売上計画に対して未達が避けられない状況となりました。

経費面では、小売部門の販売管理費で870百万円の削減(直営店舗数・前中間期末312店、当中間期末326店)をいたしました。しかしながら売上減による利益の減少をカバーするには至らず、営業利益が減少する見込みであります。

また急激な円高により子会社が保有するデリバティブ契約による評価損を含む為替差損114百万円を計上し、経常利益は減少する見込みとなり、特別損失では会計基準の見直しによる役員退職金の引当を93百万円、減損損失39百万円、店舗の閉鎖(予定を含む)による固定資産除却損49百万円を計上いたします。これらの減収要因に伴いまして、当期純利益につきましても当初計画を下回る見通しです。

(4) 今後の見通し

当中間期末時点において本来の意図する商品の在庫状況になりつつあるという状況であります。未だ当社グループの計画する売上に達しておりませんが、コンセプトに合致した商品構成への見直しを100%実施することで、品揃えの独立性を確立し、業態としての競争力を高め、売上高の回復ができるものと考えております。

なお、配当につきましては、開示しております予想の1株当たり12円50銭から変更はございません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上